



ことしも暑い!小平の夏(小平ふるさと村、中央公園のジャブジャブ池、小平グリーンロード灯りまつり)

平成30年6月定例会は、6月5日から28日まで24日間の会期で開催されました。

この定例会では、平成30年度一般会計補正予算(第1号)など15件の市長提出議案を可決・承認・同意しました。議員提出議案は特権的地方議会議員年金制度の復活に断固反対する意見書1件を可決し、請願は1件を採択しました。

また、6月6日から3日間にわたり、25人の議員から59件の一般質問がありました。

## 平成30年度

# 一般会計補正予算(第1号)など 16議案を可決

## 小平市廃棄物の減量及び処理に関する条例の 一部を改正する条例を可決しました

### 6月定例会

議会を傍聴  
しませんか?

## 今後の 市議会の日程(予定)

### 開会時刻

原則として午前9時

### 場 所

市役所7階

傍聴される方は、  
議会事務局へ  
お越しください。

- 8月20日(月) 総務委員会  
請願・陳情締め切り(午前中)(※1)
- 8月21日(火) 生活文教委員会(※2)
- 8月22日(水) 厚生委員会(※2)
- 8月23日(木) 環境建設委員会
- 8月30日(木) 議会運営委員会(※3)
- 9月 4日(火) 9月定例会本会議(初日)
- 9月 5日(水) 9月定例会本会議(一般質問)
- 9月 6日(木) 9月定例会本会議(一般質問)
- 9月 7日(金) 9月定例会本会議(一般質問)
- 9月11日(火) 総務委員会
- 9月12日(水) 生活文教委員会

- 9月13日(木) 厚生委員会
- 9月14日(金) 環境建設委員会  
請願・陳情締め切り(午前中)(※4)
- 9月18日(火) 広聴広報特別委員会
- 9月19日(水) 都市基盤整備調査特別委員会
- 9月20日(木) 公共施設マネジメント調査特別委員会
- 9月25日(火) 議会運営委員会(※3)
- 9月28日(金) 9月定例会本会議(最終日)  
広聴広報特別委員会(※3)
- 10月 9日(火) 決算特別委員会(一般会計)
- 10月10日(水) 決算特別委員会(一般会計)
- 10月11日(木) 決算特別委員会(一般会計)

- 10月12日(金) 決算特別委員会(特別会計)
  - 10月16日(火) 広聴広報特別委員会
  - 10月18日(木) 都市基盤整備調査特別委員会
  - 10月25日(木) 市民と議会の意見交換会(※5)
  - 10月26日(金) 市民と議会の意見交換会(※5)
  - 10月29日(月) 市民と議会の意見交換会(※5)
  - 10月30日(火) 市民と議会の意見交換会(※5)
- (※1) 9月定例会初日日程の受け付け期限です。  
(※2) 当日は、現地視察を予定しています。委員会の再開時間等につきましては、議会事務局にお問い合わせください。  
(※3) 開始時間については、議会事務局にお問い合わせください。  
(※4) 9月定例会最終日日程の受け付け期限です。  
(※5) 詳細については、議会事務局にお問い合わせください。

日程、開会時刻等は変更や追加になる場合もありますので、事前に議会事務局までお問い合わせください。



# 可決または同意した 主な議案

## 平成30年度一般会計 補正予算(第1号)

本補正予算は、当初予算編成後に新たに実施することとなった事業に関する経費等を計上するものです。

歳出の内容としては、総務費では、自主防災組織に供与する防災用備品を購入します。

労働費では、出産育児等で離職した女性のための再就職サポート事業を実施します。

教育費では、一般教員の負担軽減を図るため、授業の準備等の事務を補助するスクールサポートスタッフを配置するほか、小川西町図書館のエレベーターの改修工事を計上します。

予算規模としては歳入歳出をそれぞれ3千2百54万3千円増額し、総額を6百49億7千7百54万3千円とします。

## 小平市税条例等の一部を改正する条例

平成30年度の地方税制の改正等に伴い改正するものです。

主な内容として、個人市民税関係の改正では、今回の税制改正により、国税及び地方税において、働き方の多様化への対応等の観点から給与所得控除及び公的年金等控除の制度の見直しを図りつつ、一部を基礎控除に振りかえるなど、個人所得課税の見直しが行われており、これらの見直しに合わせて改正を行うもので、①基礎控除及び調整

控除について、一定の所得を超える場合に適用しないこととする、②給与所得控除及び公的年金等控除から基礎控除への振りかえに伴う所要の調整として、個人市民税の均等割、所得割等の非課税の範囲の引き上げを行います。法人市民税関係、固定資産税・都市計画税関係で改正を行うほか、市たばこ税関係では、加熱式たばこの課税方式について、製品の重量により算出する方式から製品の重量と価格により算出する方式へ5年かけて段階的に移行するなどの改正を行います。

そのほか、地方税法及び他の法令の一部改正による引用条項の改正及び文言の整理等を行います。

施行期日は、特に定めるもののほか、公布の日です。

## 国民健康保険条例の一部を改正する条例

平成30年4月1日に施行された地方税法施行令の一部改正等に伴い改正するものです。

改正の内容は、①国民健康保険税の課税限度額のうち、医療保険分を現行の54万円から58万円に改めることにより、課税限度額の合計額を現行の89万円から93万円に引き上げる、②特例対象被保険者等にかかる国民健康保険税の軽減について、届け出には雇用保険受給資格者証の提出を必須としていましたが、マイナンバーによる情報連携において必要な情報が取得できた場合には、雇用保険受給資格者証の提出を省略できるようにするものです。

施行期日は、①は平成31年4

月1日、②は公布の日です。

## 廃棄物の減量及び処理に関する条例の一部を改正する条例

廃棄物の減量や3Rの推進を図り、環境への負荷が低減された持続可能な循環型社会の実現を推進するため、平成30年3月に策定した小平市家庭ごみ有料化及び戸別収集への移行実施計画に基づき、平成31年4月1日からの家庭ごみ有料化の実施に向けて改正するものです。

主な内容は、①平成30年3月に改訂した小平市一般廃棄物処理基本計画の理念等を踏まえ、本条例の目的として、環境への負荷が低減された循環型社会の形成を実現することを明記する、②家庭廃棄物のうち、燃やすごみ、燃やさないごみ及びプラスチック製容器包装について手数料を徴収し、引きかえに交付す

る指定収集袋を使用して排出することを新たに定める、③手数料について、燃やすごみ及び燃やさないごみは1戸当たり2円、プラスチック製容器包装は1戸当たり1円の手数料を徴収することを規定するものです。

施行期日は、平成31年4月1日ですが、施行期日前から指定収集袋の販売等を行う必要があることから、附則において、収集袋の交付その他必要な行為は、施行期日前においても行うことができることとしています。

## 人権擁護委員候補者の推薦

法務大臣から委嘱されている人権擁護委員を次のとおり推薦することに同意しました。

西角 昭氏  
瀬貫 和広氏

# 常任委員会の行政視察

常任委員会では、先進市等の事業を調査するために行政視察を行っています。平成30年5月9日～11日及び16日～18日に実施した視察先、及び視察事項は以下のとおりです。

- 総務委員会 (5月9日～11日)**
  - 弘前市(青森県) 新たな財源確保の取り組みについて
  - 大館市(秋田県) ふるさと納税について
  - 盛岡市(岩手県) 盛岡市まちづくり研究所について

- 厚生委員会 (5月16日～18日)**
  - 東大阪市(大阪府) 障害児者支援センター レピラについて
  - 豊中市(大阪府) コミュニティソーシャルワーカーの取り組みについて
  - 生駒市(奈良県) 地域包括ケアシステムについて

- 生活文教委員会 (5月9日～11日)**
  - 羽咋市(石川県) 無農薬・無肥料で行う自然栽培について
  - 小矢部市(富山県) 小矢部市の教育について
  - 糸魚川市(新潟県) 駅前大火後の防災の取り組みについて

- 環境建設委員会 (5月16日～18日)**
  - 札幌市(北海道) 住民参加型の公園づくりについて
  - 室蘭市(北海道) 住民参加型の公園リニューアル事業について
  - 苫小牧市(北海道) まちなか再生総合プロジェクトについて

# 議案等に対する各議員の賛否

## 6月定例会

会派名略称 公明：市議会公明党(6) フォ：フォーラム小平(6) 政和：政和会(5) 共産：日本共産党小平市議団(4) 生ネ：生活者ネットワーク(4)  
( ) 内は各会派の議員数 緑：緑の党こだいら(1…無会派) ムサ：ムサシ(1…無会派)

区分	議案番号	件名	議決結果	公明						フォ			政和			共産			生ネ			賛成	反対							
				津本裕子	虹川浩	山岸真知子	浅倉成樹	佐藤徹	幸田昌之	石毛航太郎	小林洋子	滝口幸一	竹井ようこ	中江みわ	吉本ゆうすけ	磯山亮	小野高	川里春治	永田政弘	宮寺賢一	佐藤充			木村まゆみ	吉瀬恵美子	細谷正	平野ひろみ	さとう悦子	日向美砂子	山崎とも子
議員提出	第39号	議案第32号小平市廃棄物の減量及び処理に関する条例の一部を改正する条例に対する附帯決議	否決	×	×	×	×	×	×	×	※議長	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	6	20	
市長提出	第32号	小平市廃棄物の減量及び処理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	※議長	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	20	6
全会一致で議決した議案 ※																														
議員提出議案	第38号	特権的地方議会議員年金制度の復活に断固反対する意見書	原案可決																											
市長提出議案	第23号	専決処分(小平市税条例の一部を改正する条例)	承認							第30号	小平市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法の基準に関する条例の一部を改正する条例	原案可決																		
	第24号	専決処分(小平市国民健康保険条例の一部を改正する条例)	承認							第31号	小平市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援に係る介護予防のための効果的な支援の方法の基準に関する条例の一部を改正する条例	原案可決																		
	第25号	人権擁護委員候補者の推薦	同意							第33号	小平市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	原案可決																		
	第26号	人権擁護委員候補者の推薦	同意							第34号	小平市立学童クラブ条例の一部を改正する条例	原案可決																		
	第27号	平成30年度小平市一般会計補正予算(第1号)	原案可決							第35号	小平市国民健康保険条例の一部を改正する条例	原案可決																		
	第28号	小平市税条例等の一部を改正する条例	原案可決							第36号	小平市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例	原案可決																		
請願	第29号	小平市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	原案可決							第37号	小平市消防団消防ポンプ自動車の買入れについて	原案可決																		
	第11号	胎内掘保全工事に当たり市内用水路への流水の維持を求めることについて	採択																											

※ 議長は表決に加わりません。



# 議員の紹介

五十音順に左から右へ記載してあります。

<委員会名の略称>

総務=総務委員会、生文=生活文教委員会、厚生=厚生委員会、環建=環境建設委員会  
広聴広報=広聴広報特別委員会、都市基盤=都市基盤整備調査特別委員会  
公共施設=公共施設マネジメント調査特別委員会  
議運=議会運営委員会

(◎=委員長、○=副委員長)

 <b>写真</b> <small>ふりがな氏名(年齢は発行日現在) 当選回数 党派名 常任委員会・特別委員会等 住所 電話番号(事)は事務所</small>	 <small>あさくら しげき</small> <b>浅倉 成樹 (66)</b> <small>⑥ 市議会公明党 生文・議運 学園東町1-3-11-402 ☎042-341-7850</small>	 <small>あさひがわ ひろし</small> <b>虹川 浩 (57)</b> <small>③ 市議会公明党 総務(◎)・議運 美園町2-3-15-103 ☎042-348-0483</small>	 <small>いしげ こうたろう</small> <b>石毛 航太郎 (37)</b> <small>③ フォーラム小平 厚生(○)・公共施設 花小金井1-29-9 ☎042-452-9091</small>	 <small>いそやま りょう</small> <b>磯山 亮 (38)</b> <small>② 政和会 生文(◎)・広聴広報・公共施設 花小金井南町1-18-39-305 ☎042-452-7631</small>	 <small>いとう ひさし</small> <b>伊藤 央 (48)</b> <small>① ムサシ 生文・公共施設 学園西町2-28-11-210 ☎042-307-9054</small>	 <small>おの こういち</small> <b>小野 高一 (70)</b> <small>② 政和会 厚生・議運 小川町2-1879-4 ☎042-343-8412</small>
 <small>かわさと はるじ</small> <b>川里 春治 (71)</b> <small>③ 政和会 生文・公共施設 花小金井3-11-8 ☎042-461-8292</small>	 <small>きせ えみこ</small> <b>吉瀬 恵美子 (56)</b> <small>① 日本共産党小平市議団 厚生・広聴広報・都市基盤(○) 鈴木町2-229 ☎042-478-1133</small>	 <small>きむら まゆみ</small> <b>木村 まゆみ (66)</b> <small>⑤ 日本共産党小平市議団 生文(○)・公共施設 津田町1-2-11 ☎042-344-4928</small>	 <small>こばやし ようこ</small> <b>小林 洋子 (45)</b> <small>② フォーラム小平 環建(○)・議運(◎) 鈴木町1-248 ☎042-341-5749</small>	 <small>さとう えつこ</small> <b>さとう 悦子 (53)</b> <small>① 生活者ネットワーク 厚生・議運(○) 仲町489-7 ☎(事)042-342-4494</small>	 <small>さとう とおる</small> <b>佐藤 徹 (59)</b> <small>① 市議会公明党 環建・広聴広報・都市基盤 小川町1-800-36 ☎042-332-5883</small>	 <small>さとう みつる</small> <b>佐藤 充 (66)</b> <small>④ 日本共産党小平市議団 環建(◎)・公共施設 小川町2-1362-11 ☎042-343-0831</small>
 <small>たきぐち こういち</small> <b>滝口 幸一 (45)</b> <small>③ フォーラム小平 議長 学園西町3-1-22 ☎042-347-1060</small>	 <small>たけい ようこ</small> <b>竹井 ようこ (52)</b> <small>① フォーラム小平 総務・広聴広報(○)・公共施設 (事)美園町1-1-15 ☎(事)042-207-1232</small>	 <small>つもと ゆうこ</small> <b>津本 裕子 (57)</b> <small>④ 市議会公明党 副議長・厚生・公共施設 花小金井南町1-17-11-110 ☎042-464-1126</small>	 <small>なかえ みわ</small> <b>中江 みわ (38)</b> <small>① フォーラム小平 生文・広聴広報・都市基盤 学園東町1-10-16-101 ☎042-315-7475</small>	 <small>ながた まさひろ</small> <b>永田 政弘 (72)</b> <small>⑤ 政和会 環建・広聴広報(◎)・都市基盤 天神町2-3-12 ☎090-2538-0263</small>	 <small>はしもと ひさお</small> <b>橋本 久雄 (67)</b> <small>⑤ 緑の党こだいら 厚生・都市基盤 学園西町1-22-15サントピア並木1F ☎042-348-1127</small>	 <small>ひなた みさこ</small> <b>日向 美砂子 (56)</b> <small>③ 生活者ネットワーク 総務・都市基盤 小川町1-869-1-103 ☎(事)042-342-4494</small>
 <small>ひらの ひろみ</small> <b>平野 ひろみ (59)</b> <small>③ 生活者ネットワーク 環建・公共施設(◎) 小川東町5-11-11-702 ☎(事)042-342-4494</small>	 <small>ほそや ただし</small> <b>細谷 正 (39)</b> <small>② 日本共産党小平市議団 総務・議運 小川西町5-37-6 ☎042-345-0818</small>	 <small>みやでら けんいち</small> <b>宮寺 賢一 (74)</b> <small>③ 政和会 総務(○)・都市基盤 小川町1-265 ☎042-341-7964</small>	 <small>やまがし まちこ</small> <b>山岸 真知子 (59)</b> <small>③ 市議会公明党 総務・広聴広報・公共施設(○) たかの台19-7 ☎042-309-5355</small>	 <small>やまさき ともこ</small> <b>山崎 とも子 (50)</b> <small>① 生活者ネットワーク 生文・広聴広報・都市基盤 小川町1-3050-2 ☎(事)042-342-4494</small>	 <small>ゆきた まさゆき</small> <b>幸田 昌之 (50)</b> <small>② 市議会公明党 厚生(○)・都市基盤(◎) 学園西町1-37-4 ☎042-347-7480</small>	 <small>よしもと ゆうすけ</small> <b>吉本 ゆうすけ (35)</b> <small>① フォーラム小平 議運 小川西町5-30-9-205 ☎042-315-9337</small>

## 常任委員会

◎=委員長  
○=副委員長

市の事務に関する調査及び議案・請願等の審査を行います。小平市議会では条例により四つの常任委員会を設置しています。各委員会の定数及び所管は次のとおりです。

### ■総務委員会(7人)

市の基本計画、広報、財政、財産管理、個人情報保護、情報公開、契約、職員給与、戸籍・住民記録、市税、公金の出納、広聴、市民相談などに関する事項

- ◎虹川 浩 ○宮寺 賢一
- 竹井ようこ ○日向美砂子
- 細谷 正 ○山岸真知子
- 吉本ゆうすけ

### ■生活文教委員会(7人)

防災、防犯、男女共同参画、地域センター、産業振興、文化施策、スポーツ振興、学校教育、生涯学習、公民館、図書館などに関する事項

- ◎磯山 亮 ○木村まゆみ
- 浅倉 成樹 ○伊藤 央
- 川里 春治 ○中江 みわ
- 山崎とも子

### ■厚生委員会(7人)

子育て支援、保育、生活支援、高齢者支援、介護保険、障害者支援、健康施策、国民健康保険などに関する事項

- ◎石毛航太郎 ○幸田 昌之
- 小野 高一 ○吉瀬恵美子
- さとう悦子 ○津本 裕子
- 橋本 久雄

### ■環境建設委員会(7人※欠員2人)

環境対策、ごみ・リサイクル、公園・用水、下水道、都市計画、公共交通、土地地区画整理、道路、交通対策などに関する事項

- ◎佐藤 充 ○小林 洋子
- 佐藤 徹 ○永田 政弘
- 平野ひろみ

## 特別委員会

◎=委員長  
○=副委員長

常任委員会とは別に、特定事件を調査及び審査するための委員会です。各委員会の定数及び所管は次のとおりです。

### ■広聴広報特別委員会(8人)

①議会報告会の企画及び聴取した意見等の整理に関する事②議会報の編集及び発行方法に関する事③議会ホームページの充実に関する事④広聴及び広報活動の基本的事項の調査に関する事

- ◎永田 政弘 ○竹井ようこ
- 磯山 亮 ○吉瀬恵美子
- 佐藤 徹 ○中江 みわ
- 山岸真知子 ○山崎とも子

### ■都市基盤整備調査特別委員会(10人※欠員1人)

①駅前再開発の基本的事項の調査に関する事②都市計画道路、鉄道の連続立体交差化の基本的事項の調査に関する事

- ◎幸田 昌之 ○吉瀬恵美子
- 佐藤 徹 ○中江 みわ
- 永田 政弘 ○橋本 久雄
- 日向美砂子 ○宮寺 賢一
- 山崎とも子

## 議会運営委員会(7人)

◎=委員長 ○=副委員長

議会運営に関する事項についての調査及び議案・請願等の審査を行います。

- ◎小林 洋子 ○さとう悦子
- 浅倉 成樹 ○虹川 浩
- 小野 高一 ○細谷 正
- 吉本ゆうすけ

### ■公共施設マネジメント調査特別委員会(10人)

公共施設マネジメント推進計画に係る基本的事項の調査に関する事

- ◎平野ひろみ ○山岸真知子
- 石毛航太郎 ○磯山 亮
- 伊藤 央 ○川里 春治
- 木村まゆみ ○佐藤 充
- 竹井ようこ ○津本 裕子



# 市政を問う 一般質問要旨

## 一般質問とは

議員が市政全般にわたり、執行機関に対し、事務の状況及び将来に対する方針等について質問することをいいます。一般質問(要旨)につきましては、議員ごとにまとめたものを掲載しております。これまでの会議録は、小平市議会ホームページで、閲覧・検索ができます。動画もご覧になれます。



### SNSによる相談支援体制の充実 在宅医療と介護の連携推進

佐藤 徹議員(市議会公明党)

いじめ、自殺等へのSNSを活用した相談支援体制の充実を

在宅医療と介護のさらなる連携推進を目指して

質問 ①柏市が導入した相談アプリ\*1の導入を本市でも検討すべきだが見解は。

②LINEを使用した都の相談の取り組みを、本市の小・中学校の児童・生徒・保護者にも広報、周知すべきだが見解は。

教育長 ①現在の相談体制の成果と課題を確認し、周辺自治体の動向等も踏まえ研究していく。

②都の相談アプリなどが記載されたメールマガジンの情報をホームページに掲載するなどしている。教員研修会等で周知し、児童等に知らせるよう指導する。

質問 ①地域包括ケア推進計画の、切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進について、30年度の取り組みは。

②在宅療養支援診療所と訪問診療を行う診療所について、30年度の取り組みは。

市長 ①多職種連携のさらなる充実に向け、どんな取り組みが必要かの意見交換を行っており、本年度中の構築を目指していく。

②在宅医療介護連携調整窓口の相談対応に役立てるため、病院等の状況把握を行うアンケートの実施を検討していく。



### 適正な中学部活動に減少を続ける自治会加入率をどうするか

伊藤 央議員(ムサシ)

生徒の健全な心身の成長の観点から部活動の現状と今後

質問 ①部活動の長時間化が与える生徒、教員への影響は。

②スポーツ庁が策定した運動部活動の在り方に関する総合的なガイドラインを受けて学校への指導は。

教育長 ①行き過ぎた活動は生徒に心理的・肉体的な負担をもたらすおそれがあるとともに、教員の長時間労働にもつながる。

②文化部活動についても運動部活動に準じた取り扱いが必要。ガイドライン及び都教育委員会策定の運動部活動の在り方に関する方針のとりと、本年度末

までに市の部活動のガイドラインを作成する予定である。

地域コミュニティの活性化を自治会加入促進から考える

質問 ①自治会加入率が上昇しない原因は。

②市として自治会加入率について目標値を持つているか。

③自治会加入を促進するための条例制定は考えられないか。

市長 ①住民と地域の関係が希薄になっていることが原因の1つと考えている。

②具体的な目標値はない。

③考えていない。



### 農業者と市民の共生により都市農業を未来へつないでいこう

小野高一議員(政和会)

都市農業振興により市内農地の有効活用及び維持保全をしよう

質問 ①特定生産緑地制度の活用促進のため、普及啓発や実態調査を実施する予定は。

②生産緑地地区の表示がわかりづらくなった標識への対応は。

③小学校における学童農園事業について、農業者の評価は。

④中学校での学校農園実施は。

⑤企業等への農業体験周知は。

②判別が困難となった標識は、必要に応じ新しい標識と交換している。今後、制度の開始により、特定生産緑地に移行するものとして混在する状況等が想定されるため、標識を含め周知方法を検討していく。

③全市立小学校で実施している。児童が未来の小平農業応援団となり、市内農業の発展につながっていくと評価されている。

④企業等への農業体験周知は、教育長 ④現在のところ予定はない。

市長 ①農業委員会、JA東京むさしとも連携し説明会を開催するなど、丁寧な普及啓発活動を進めていく。実態調査は毎年実施する作付調査とあわせて実施等方策について検討していく。

市長 ⑤企業が従業員の福利厚生として取り入れることで、都市農業への理解が深まり、市内農業の振興につながると捉えている。



### 自治会加入促進と行政の役割 保育園待機児童の対応策

中江みわ議員(フォーラム小平)

自治会加入促進と行政の役割について

質問 ①非加入者の要因をどのように把握し、分析しているか。

②日野市を参考に、職員を自治会と市のパイプ役とする地域サポーター制度導入への見解は。

市長 ①単独世帯の割合の増加やライフスタイルの多様化等に伴う、住民と地域の関係の希薄化が要因の1つであると考える。

②地域へ積極的に職員が出ていき、自治会などさまざまな団体が連携する仕組みの構築に取り組みなどしており、現在は考えていないが、自治会の実情や意向も踏まえ研究していく。

保育園待機児童の対応策はどのように進めるのか

質問 ①平成30年4月1日現在の待機児童数が96人という実態を踏まえ、認可保育園を1園程度設置すると打ち出したが、このタイミングで決定した経緯は。

②認可保育園誘致の際に課題となることは何か。

市長 ①地域型保育事業の整備や既存施設の活用を検討したが、連携施設の確保が難しいことなどにより、認可保育園新設の提案を受け付けることとした。

②公募期間が短いことによる適切な土地の確保の難しさや、新たな財政負担の増加がある。



### 保育園と防災対策について 萩山駅前歩道橋の安全対策

幸田昌之議員(市議会公明党)

多様化する保育ニーズに対応するため

質問 骨折などのけがをしている乳幼児の保育の対応は。

市長 医師の診断を踏まえて、保育園内で集団生活が可能な乳幼児は預かっている。

改めて災害時の自助、共助を進めるための準備を

質問 ①現在作成が進んでいる各小・中学校の避難所管理運営マニュアルの進捗状況と課題は。

②小平第十小学校が29年の学校公開を活用して実施した防災を考える日についての見解は。

30年5月末現在28地域中10地域で、マニュアルを作成する組織の発足時により多くの人が参加してもらえかが課題である。

②児童や保護者、地域の人々の参加で周知ができ、地域防災力の向上に非常に有効であった。

萩山駅前歩道橋の安全対策について

質問 萩山駅前歩道橋について管理している東村山市とはこれまでどのような協議をしたか。

市長 現況や今後の修繕等を協議している。30年度、当該歩道橋の橋梁点検と交通量調査を実施する予定であると聞いている。



### 視覚障がい者に危険な横断歩道 次世代高効率照明機器

蛇川 浩議員(市議会公明党)

視覚障がい者に危険になった新青梅街道の移設された横断歩道

質問 ①大沼町のタッチ式スイッチの障害者に優しい横断歩道が移設された経緯は。

②新たな横断歩道は新青梅街道に対し道に沿って斜めに設置されており視覚障害者のために改善策を講ずるべきだが見解は。

市長 ①道路管理者等からは、地元住民の要望で交差点西側に横断歩道を増設するとともに、既設の横断歩道を交差点の形状に合わせて移設したと聞いている。

②交通管理者に、同様の工事の際は丁寧な対応をお願いするとともに、要望を伝えていく。

施設の次世代高効率照明機器への交換・設置計画の策定を急げ

質問 ①公共施設及び学校施設の次世代高効率照明機器への設置計画の策定について見解は。

②学校照明は、児童・生徒の健康のためフリッカー(ちらつき)対策等の必要があり、早急に実証実験等に着手すべきでは。

市長 ①国は2030年での全ての照明の高効率化を示していることから計画の策定を検討していく。

教育長 ②既に増改築工事等の際に高効率照明を設置しており、実証実験等は考えていない。今後も児童・生徒の健康面に配慮しながら高効率化に努めていく。



自治会加入を促進するチラシと市報こだいら(平成29年3月20日発行 第1431号)





高齢者の生活の質向上のために  
魅力あるまちづくり、人づくり

津本裕子議員(市議会公明党)

多様化する高齢者の生活の質向上のためにまちの意識改革を

質問 ①アクティブシニアに対して、地域振興型のシニア街コンを実施すべきだが見解は。

②仮称アクティブシニア応援店舗認定証の実施で、商業者に積極的な働きかけができないか。

市長 ①実施主体など課題も多いため商工会から情報収集を行うなど実施に向け研究していく。

②集う場の提供でシニア層の仲間づくりが図られる。また、顧客として取り込むことで商業者も店舗の活性化が図れることから両者にメリットがある。今後、実施主体となる商業者等との情報交換を含め研究していく。

魅力あるまちづくり、人づくりについて

質問 ①観光まちづくり振興プランの見直し体制は。

②シニアプロモーションとして、ブランド化を人に特化した阿蘇市の「然」と同様の取り組みをすべきと考えるが、見解は。

市長 ①現行プランの進行管理を行う観光まちづくり庁内連絡会で調整を図って検討していく。

②然は市が目指す地域主体、民間主体の観光まちづくりに共通する。地域ブランドの構築は、先進事例も参考に、観光まちづくり協会を中心に研究していく。



教科化された道徳と教職員の長時間労働  
小動物公園の設置を

木村まゆみ議員(日本共産党小平市議団)

小平の子どもと教育をめぐる諸課題について

質問 ①道徳の評価、すなわち通信簿のつけ方の要点は。

②道徳教科書採択は現場教師の意見が最も尊重されるべきだが、どのように担保されるか。

③教職員の長時間労働のアンケート結果を受けた改善対策は。

市長 ①数値でなく文章で評価し、通信簿等に記述する。

②現場教員の意見を反映できるように各学校で調査研究し、その報告を採択の資料に活用する。

子どもたちがじかに触れ合える小動物公園が設置できないか

質問 ①設置するとしてたらどこが望ましいか。

②子どもたちが直接動物と触れ合える動物園設置への考えは。

市長 ①樹林やグラウンドなど緩衝帯を外周部に設けるため大きな敷地が必要になる。

②設置場所の確保は困難であり、設置は考えていない。



農業の今後の見通しと観光農業  
いじめ防止基本方針について

川里春治議員(政和会)

小平の農業の今後の見通しと観光農業について

質問 ①これからの観光農業についてどう考えるか。

②農地の作付面積の今後の見通しへの見解は。

③農業生産量をふやすためにどのような考えがあるか。

市長 ①市民や観光客等への農業とかかわる機会の提供で、住む人等の暮らしを支え豊かにする農業振興が図られると考える。

②農地面積が毎年減少している状況だが、新技術の導入等による生産性の向上で、作付面積の増大は可能と考えている。

いじめ防止基本方針について

質問 ①いじめゼロの表記をいじめ防止、いじめの早期発見、早期対応に変更した理由は。

②いじめを受けた児童・生徒の保護者に、いじめの事実を誰がどのように伝えるのか。

教育長 ①教員がいじめ件数ゼロを意識することはいじめの報告をためらい適切な対応の機会を失う可能性を懸念し変更した。

②担任や学年主任の教員のほか、状況により校長・副校長が面談や家庭訪問等で伝えている。



会計年度任用職員  
改正自殺対策基本法  
施行後の取り組み

石毛航太郎議員(フォーラム小平)

会計年度任用職員について

質問 ①法改正で、自治体の臨時・非常勤職員の大多数が新たに会計年度任用職員に位置づけられるが、どのようなものか。

②改正により現状からどのようなことが変わるか。

市長 ①一会計年度を超えない範囲内で置かれる非常勤職員とされ一般職に分類される。1千人程度が対象と見込んでいる。

②秘密を守る義務等、地方公務員法の規定が適用され、違反者は懲戒処分の対象となる。報酬に関しては職務給の原則等に基づき決定することとなる。

改正自殺対策基本法施行後の取り組みについて

質問 ①子どもの自殺予防として都教育委員会が全校に導入したSOSの出し方の授業とは。

②データヘルズ計画やその分析等を活用して自殺予防の取り組みができないか。

教育長 ①都が作成したDVDを活用し、不安や悩み、ストレスへの自分なりの対処方法を考えさせる学習活動を行っている。

市長 ②生活習慣病を発端に健康問題を抱え自殺に至るケースも多いため、保健、医療、福祉等関連施策のデータ分析と活用により取り組みを検討していく。



ブランド化を人に特化した阿蘇市の「然」(阿蘇市経済部観光課)



小平市版のエンディングノート

宮寺賢一議員(政和会)

小平市版のエンディングノートをつくる考えはないか

質問 ①エンディングノートの役割とメリットへの認識は。

②今まで個人があらかじめ家族等に伝えておきたいことを書くケースが多かったエンディングノートを自治体で作成するようになった背景及び効果は。

③作成費を極力抑える方法やホームページからのダウンロードを可能にするなど工夫をし、小平市版エンディングノートをつくり配布する考えはないか。

市長 ①自分自身が突然死したときや判断能力及び意思疎通能力の喪失を伴う病気がかかった

ときに、これまでの生き方や人生への思い、介護・医療についての希望、大切な人たちへのメッセージなどを記録することで、残された人々に迷惑をかけることなく、自分らしさを支えてくれるものになると認識している。



住まいは人権、生活困窮者に  
安心して都営住宅と住宅施策

吉瀬恵美子議員(日本共産党小平市議団)

住まいは人権、生活困窮者に安心して都営住宅と住宅施策

質問 ①市内の都営住宅の団地数、管理戸数とその内訳について、一般、シルバーピア、車椅子利用者向け住宅の数は。

②5月時点で、市内の都営住宅の空き家戸数は。また、実際に5月に募集した募集戸数は。

③生活困窮者、若年層や非正規雇用の人々の、特に高い家賃問題など深刻な住まいの問題をどう認識し、対策を講じるのか。

市長 ①団地数37団地、管理戸数5千4百70戸。内訳は一般住宅5千51戸、シルバーピア269戸、車椅子利用者向け住宅50戸。

②都から、空き家戸数については入居と退去が常に行われるため把握困難であると聞いています。5月募集戸数は125戸である。



子ども・若者計画について  
図書館が愛され続けるために

さとう悦子議員(生活者ネットワーク)

小平市子ども・若者計画の推進について

質問 ①子どもの権利行使の保障がなぜ記載されていないのか。

②子どもの貧困について市の状況をどう認識しているか。

③子ども食堂のあり方の検討とは。

市長 ①計画の対象は中学生から29歳までである。児童の権利条約の理念は盛り込んでいる。若年層や非正規雇用の人には、離職後2年以内で、離職により生活に困窮している賃貸住宅に住む65歳未満の人を対象に、一定期間家賃を助成する住宅確保給付金の支給を行っている。

②子ども食堂のあり方の検討とは。

質問 ①図書館をどのような場所にしていきたいか。展望は。

②司書の配置等、専門性を確保するために何を行っているか。

③他市図書館で「もうすぐ2学期。学校がら子図書館へ」という発信があった。小平市でも同様の発信は可能か。

教育長 ①開館以来の運営方針に加え地域の情報拠点として機能強化する。

②司書講習の受講や研修等で専門性等の向上を図っている。

③現在は考えていないがさまざまな情報発信等に努めていく。





### 行政文書を西暦表記へ／現状では震災用井戸は活用できない

橋本久雄議員(緑の党こだいら)

改元に伴い行政文書は原則として西暦表記とすべき

質問 ①行政文書に年号を記載する場合の基準は。

②西暦表記の町田市の評価は。

③西暦を基本に必要な際は元号併記として統一できないか。

市長 ①明示した基準等はない。②表記の法的規定はなく各自自治体に対応しているものである。③国の見解等注視し対応する。

現状では災害時、震災対策用井戸は有効に活用できない

質問 ①場所の公表、標識の設置、ルール作成と表示、周辺住民への周知等改善が必要では。



### 所有者不明土地問題の解決／障害者グループホームを守る

磯山 亮議員(政和会)

所有者不明土地等の対策について

質問 ①市内の所有者不明土地の数と把握のための取り組みは。

②住民票、除かれた住民票、戸籍の附票、除かれた戸籍の附票は、所有者不明土地の所有者を探る際、本人の同一性を住所、氏名により特定し証明できる手段である。住民票の除票及び戸籍の附票の除票に関して、保存期間を延長してどうか。

市長 ①課税している土地において5件ある。現地調査をするとともに、住民票、戸籍等を調査し、把握に努めている。

②保存期間の延長は有用と認め

識している。国の検討状況等注視し今後の対応を研究していく。

障害者グループホーム都加算制度の改定が及ぼす影響について

質問 ①市内グループホームに対する影響は。

②都に対し、市内事業者の法人運営に影響がないよう激変緩和の検討や丁寧な説明、詳細な実態調査等を提案してはどうか。



### 子どもたちの外遊びを保障するプレパーク／給食の食器改善

平野ひろみ議員(生活者ネットワーク)

子どもたちの外遊びを保障するプレパークを活用しよう

質問 ①第三次長期総合計画に掲げるプレパーク設置について、その経過と実現に向けた取り組み、また今後の活用を問う。

②子どもにとっての外遊びの場所や時間についてどう保障しているか。

市長 ①小川町一丁目区画整理事業区域内のきつねばら公園にプレパークエリアを整備すると公表した後、関係団体などからの要望に基づき整備し、平成23年7月から供用開始した。今後もプレパーク活動ができる場として提供を継続する。

②市内には多くの公園、市民広場等がある。

教育長 ②全市立小学校で学校施設遊び場開放事業を放課後等の時間を利用して実施している。

おいしい給食の食器改善を全校で進めるべき

質問 小学校給食の食器改善の進捗状況と今後の計画は。

教育長 市立小学校19校のうち9校は今年で強化磁器食器またはPEN樹脂食器を使用し、残り10校の4年生以上の学年ではアルマイト食器を使用している。平成33年度までは給食調理業務委託化の計画にあわせ強化磁器食器への切りかえを進める。



### 防災／学校での宿泊行事

小林洋子議員(フォーラム小平)

避難所管理運営マニュアル作成状況について

質問 ①避難所管理運営マニュアル作成対象としているのは何か所か。

②未着手の避難所の課題は。

地域住民への声かけがうまくいっていない場合、消防団OBや災害時支援ボランティア登録者への声かけが有効と考えるがどうか。

市長 ①市立小・中学校及び元気村おがわ東の28か所である。

②避難所運営の中心となるリーダーの育成等が課題である。提案を含めより多くの地域住民に協力してもらえよう務める。

質問 ①宿泊行事を行う目的は。

②宿泊行事をふやして欲しい等、校長会などから要望が上がったことはあったか。

③宿泊行事をふやすことを検討して欲しいと考えるがどうか。

教育長 ①見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、集団生活のあり方や公衆道徳等についての体験を積むことである。

②5年生でも移動教室を実施できないかとの声はあった。

③教育的効果や保護者と市の負担増等について協議し実現の可能性の見きわめが必要である。



### 公共交通をよりよいものにするために受動喫煙防止を進めよう

山岸真知子議員(市議会公明党)

小平市の公共交通をよりよいものにするために

質問 ①南西部地域のコミュニティタクシーを考える会での検討状況は。

②高齢者など移動困難な人への福祉的な視点を踏まえ、公共交通体系のあり方を再検討する必要があると考えるが見解は。

市長 ①上水本町地域はルート案見直しの検討をしているため、鷹の台駅西側地域から実証実験運行開始の進捗を進めている。

②南西部地域の交通体系が整備された段階で、市内の交通機関の状況を踏まえ、近隣市との連携等を含め、今後の公共交通

に関する考え方を検討していく。子どもの安全や健康増進の視点で受動喫煙防止を進めよう

質問 ①駅周辺の通学路での路上喫煙を規制すべきだが見解は。

②健康増進の視点から受動喫煙の有害性等の知識の普及啓発を強化すべきだが、教育委員会におけるこれまでの取り組みは。

市長 ①市内全域で歩きたばこ防止等に取り組んでいるが、駅周辺では、子どもを受動喫煙から守る認識と理解をより深めてもらうことが重要と考えている。



### 鈴木街道と五日市街道の改善／表彰制度の創設

浅倉成樹議員(市議会公明党)

小平団地東側を中心に鈴木街道と五日市街道等の改善について

質問 ①小平団地東側の鈴木街道の歩道改善のため団地側の用水路を含む歩道の一部をスロープ側に付けかえる提案を平成17年にしたが、現在の都の考えは。

②喜平橋から茜屋橋間の五日市街道で、歩道設置のための買収ほどの程度進んでいるか。

市長 ①団地側の用水路を車道へ改修する必要があり、その場合、用水路の側壁等の構造が車両の通行に耐えられないことなどから、難しいと聞いている。

②都からは、5割強の事業用創設を検討していく。

質問 仮称小平市グリーンロード栄光賞を創設し、文化・スポーツ面で市に貢献している村上茉愛選手、FC東京及び斎藤素蔵氏を顕彰すべきだが見解は。

市長 行政活動や自治、地域振興に功労のあった人への表彰制度はあるが、芸術、文化、スポーツに関する基準が明確に定められていない。東京2020オリンピック・パラリンピックに向け、スポーツ、文化等の分野での功績をたたえる新たな表彰制度の創設を検討していく。



小学校給食の食器(左からPEN樹脂食器、アルマイト食器、強化磁器食器)





電子申請推進/効率的保育事業/職員は地域コミュニティへ

市民サービス向上のため電子申請を推進すべき

質問 ①児童手当申請や保育園申し込みなどの電子申請の子育てワンストップサービスは忙しい世代に有効だが、市の考えは。

市長 ①マイナンバーカードと電子申請の普及促進をどう行うか。

市長 ①医療費助成制度などが電子申請に対応しておらず、子どもに関する手続を完結できないことや、申請内容確認のため面談が必要となることなど、課題があると捉えている。

②マイナンバーカードの利便性の周知と、電子申請に適した手続の検討を進めていく。

自治体経営を効率化し職員の稼働を地域コミュニティへ

質問 ①自治会・町会の現状について課題認識とその対処策は。

市長 ①住民と地域の関係の希薄化や加入率低下に伴う担い手不足等の課題がある。自治会懇談会を通じ地域実態の把握や支援に取り組むなどしている。

②現在のところ考えていないが、市民団体と行政の関係性など総合的に考えながら、職員と地域のかかわりを研究していく。

【掲載分以外の質問項目】

○保育ニーズをより正確に把握し、効率的な保育事業の推進を



視覚障がい者への支援体制について問う

質問 ①緑成会病院横からたいよう福祉センターへ向かう歩道の点字ブロックの剥がれは、早急に対応すべきだが見解は。

市長 ①早急に補修等の対応を行っている。

②利用者の意見等聞きながら、機会を捉えて整備に努めていく。

③地域ごとに通所等を担当する5人の社会福祉主事と、ガイドヘルパー派遣等を担当する2

人の社会福祉主事が、主に相談を受け付けるなどしている。



小川駅再開発まちづくりに市民の声を反映を/防球ネット点検

小川駅西口地区再開発と周辺のまちづくりに市民の声を

質問 ①まちづくりに市民が参画する場や市民の声を反映する仕組みをつくれぬか。

市長 ①準備組合と連携を図りながら、丁寧な周知と説明に努めるとともに、できる限り多くの人が参加してもらえぬ取り組みの研究を進めていく。

②市民の意見を聞きながら小川駅近隣の公共施設や、中央公民館、健康福祉事務センター、福祉会館等とともに、一体的な

検討を進めていく予定である。

秋山公園グラウンド防球ネットと自立型掲示板の保守点検を

質問 ①防球ネットについて腐食、さびの程度をどう認識しているか。また、更新または修繕の検討をどうするか。

市長 ①現在、防球ネットの詳細な状況を確認しており、今後必要な対応を検討していく。

②選挙ポスター掲示場の設置場所は最適か。

市長 ①現在、防球ネットの詳細な状況を確認しており、今後必要な対応を検討していく。

②選挙管理委員会事務局

【掲載分以外の質問項目】

○農地が結ぶ地域の輪と防災機能の可能性について



修繕等の対応が検討される秋山公園グラウンドの防球ネット



介護離職ゼロに/発達支援センター設置を/ともに暮らす町に

高齢者も介護する人も幸せに暮らす小平をめざして

質問 ①地域包括ケア推進計画における介護者の課題解決は。

市長 ①介護する家族の支援と介護保険サービスの量的整備、質の向上を図ることが重要。

②退院前に病院から情報提供と支援依頼があり、ケアマネジャーと家族、本人とともに在宅療養の体制を整える。

子どもの育ちに寄り添う発達支援のあり方について

質問 ①児童発達支援センター設置についての検討状況は。

市長 ①平成32年度までに設置することを成果目標としている。

②スペースも検討していく。

生活の中での多文化共生を実現するため

質問 住民基本台帳に記載されていない外国人の住民への就学や福祉における対応は、人権保護等の視点で行われているか。

市長 福祉では無料低額診療事業等で適切に対応している。

教育長 就学は、国の通知を踏まえて適切に対応する。



国民健康保険の今後/安心して暮らせる介護サービスの提供

国民健康保険の今後について問う

質問 ①保険料が高いなどの構造問題はどうか解決されるのか。

市長 ①今回の制度改革は国の財政支援を拡充し、財政運営を都道府県単位として財政基盤の強化と制度の安定化を図る重要な改革であるため、構造問題の解決につながることを認識している。

②都道府県と区域内の市町村が保険者の事務を共通認識のもと実施するという改革の趣旨に沿って慎重に対応すべきと考える。

安心して暮らせる介護サービスの提供

質問 ①ケアマネジャー、訪問看護師が不足しているが現状は。

市長 ①現時点でケアマネジャーに不足はないと認識している。訪問看護師は、土日等に対応可能な職員の確保等に苦慮している事業所もあると聞いている。

②単身の認知症高齢者へのケアなどニーズの多様化等は認識しており、ケアマネジャー等を中心とした多職種協働によるチームケアの実践で対応していく。

用語の解説

※1 STOP itとは

いじめ等を受けている、もしくは目撃した人が匿名で学校等の担当者に報告、相談ができるモバイルアプリケーションのこと。

※2 アクティブシニアとは

一般に、自分の価値観を持ち、定年退職後なども趣味や社会参加活動等、さまざまな活動に積極的に取り組むシニア層とされている。

市議会ホームページをリニューアルしました

カレンダー機能の追加などのリニューアルをしました。今後わかりやすい情報配信に努めていきます。ぜひご覧ください。

市議会ホームページの内容

小平市議会のページには、さまざまな機能があります。ぜひ活用ください。

議会中継

本会議の様子をインターネットで録画配信しています。録画映像は会議日の原則3日後から配信を開始し、次の定例会の前日までの間、ご覧いただけます。

会議録検索システム

本会議や委員会での発言は会議録に記録されます。当システムでは、キーワードなどから会議録を検索することができます。

市議会だよりデジタル版 年4回発行している市議会だよりをデジタルブック形式で読

むことができます。

議員の寄附行為は禁止されています

政治家が、選挙区内の人や団体にあいさつ状(答礼のための自筆によるものは除く)を出したり、お金や物を贈ることは、時期や理由を問わず法律で禁止されています。受け取った人も罰せられます。

また、有権者が政治家に寄附を求めることも禁止されています。具体例は次のとおりです。

- お中元やお歳暮
○お祭りへの寄附や差し入れ
○秘書や家族などが代理で出席する場合の結婚祝いや香典
○葬式の花輪や供花
○落成式、開店祝いの花輪やお祝いなど

市民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

市議会を傍聴してみませんか

本会議や委員会は定員の範囲内でどなたでも傍聴することができます。傍聴を希望される方は市役所7階の議会事務局にお越しください。会議当日の午前8時30分から受け付けをいたします。所定の手続をさせていただきます。傍聴券をお渡しします。

なお、小平市議会では、本会議場傍聴席への磁気ループの設置と手話通訳者の配置を試行的に実施しています。(ご利用に当たっては、事前の申し込みが必要ですが)

本会議の日程等詳しいことは議会事務局までお問い合わせいただくか、市議会のホームページをご覧ください。



# 請願・陳情

6月定例会では、請願1件を新たに受理し、採択しました。陳情は2件を受理し、全議員及び執行機関に陳情文書表を配付しました。採択した請願の要旨は次のとおりです。

## 胎内堀保全工事に当たり市内用水路への流水の維持を求めることについて

小平には、約350年前、開拓民の生活用水を確保するため、玉川上水からの分水によってつくられた用水路が今も流れています。明治3年に玉川上水に並行して掘られた新堀用水には立て穴を掘ってから横穴を掘ってつなげる素掘りのトンネル方式である胎内堀となつている箇所が上流部にあります。

小平市は、平成30年9月から平成31年3月にかけて、胎内堀の保全工事を計画しています。胎内堀抗口付近の樹木伐採や宅地化により抗口部分が乾燥し、木の根の影響もあつて劣化が進んで行保対策が必要だと市は説明しています。

これらの用水路には多摩川の原水が流れており、豊かな生態系を形成しています。特に水流が豊富な小川用水の上流部には、絶滅危惧種であるアブラハヤのほか、クチボソ、ドジョウなどの魚類や、ザリガニ、ガガンボ、カワニナ、ヤゴ類、蛭など多様な生き物が生息しています。それらを餌とするサギやカモも飛来します。

保全工事の実施に伴い3か月にわたり水流が途絶えれば、これらの水生生物の大半は死滅してしまいます。そしてその回復は容易なものではありません。平成25年、上水公園付近での漏水事故のため、半年間水が途絶えた新堀用水では、以前は見られた生物が、5年たった今も十分には戻っていません。市では現在の流水量を確保して切り回しをするには大がかりな工事が避けられず、多額の経費が必要と試算し、胎内堀内の工事の危険性も回避しきれないとしています。しかし、それらの課題を克服しませんが、それらの課題を何らかの方策は見出せるはずと見込んでいます。

小平市開拓の礎である用水路は、豊かな自然に親しむ水辺としても貴重な財産であり、よりよい形で後世へつないでいくことが大切です。

以上の理由により、次の事項

## 「市民と議会の意見交換会」を開催しました

市議会では「小平の魅力アップについて あなたの目線で考えてみませんか」をテーマに、今年初めての意見交換会を以下のとおり開催しました。3月定例会の報告を行ったのち、市民の皆さんとグループに分かれ、テーマに沿って意見交換を行いました。多くのご意見をいただきました。ありがとうございました。開催の概要は下記のとおりです。

- ・日時 4月27日(金) 午後7時～9時
- ・会場 ルネこだいら レセプションホール
- ・参加者数 39人



当日の様子

意見交換の内容やいただいたご意見、アンケート結果の詳細については、市議会ホームページ (<http://www.city.kodaira.tokyo.jp/gikai/>) のほか、市役所7階議会事務局でもご覧いただけます。

今回は、10月25日、26日、29日、30日の夜間に4会場での開催を予定しております。詳細は、議会事務局までお問い合わせください。多くの方のご参加をお待ちしております。

## 意見書

6月定例会では1件の意見書を可決し、関係機関へ送付しました。(要旨)

意見書とは、地方公共団体の公共の利益に関することについて議会としての意思を意見としてまとめ、国会または関係行政庁に文書で提出するものです。(地方自治法第99条)

### 特権的<sup>地方議会議員</sup>年金制度の復活に断固<sup>反対する</sup>意見書

地方議会議員年金は市町村合併の急速な進展等による議員数の激減による年金財政の破綻により平成23年に廃止されました。しかし、議員のなり手がいないことなどを理由に地方議会議員の厚生年金への加入のための法律の改正案を議員立法により今国会に提案する準備が続けられています。

### 小平市非核都市宣言

世界の恒久平和は、人類共通の願いである。しかし、核軍備拡大競争及び通常兵器の軍備拡大競争は一段と激化し、世界各地で武力紛争が絶え間なく続き核戦争の脅威が迫っている。

我が国は、世界唯一の核被爆国であることにかんがみ、小平市議会は、すべての国の核兵器に反対し非核三原則を堅持し、人類永遠の平和のため努力することを決意し非核都市を宣言する。

昭和58年3月3日 小平市議会

※この宣言は、昭和58年3月定例会において議員から提案され全会一致で可決されたものです。

### 議会目録

4月19日～7月17日  
本会議、委員会、諸会議など

4月	5月	6月	7月
19日 石川県議会議員視察来庁(下水道整備事業のこれまでの取り組み、ふれあい下水道館開設に至る経緯及び利用状況について)	9日 総務委員会行政視察(青森県弘前市、秋田県大館市、岩手県盛岡市 11日まで)生活文教委員会行政視察(石川県羽咋市、富山県小矢部市、新潟県糸魚川市 11日まで)	5日 6月定例会初日 6日 6月定例会2日目(一般質問) 7日 6月定例会3日目(一般質問) 8日 6月定例会4日目(一般質問) 12日 総務委員会 13日 生活文教委員会 14日 厚生委員会 15日 環境建設委員会 18日 広聴広報特別委員会 19日 都市基盤整備調査特別委員会 20日 公共施設マネジメント調査特別委員会 22日 幹事長会議 25日 議会運営委員会 28日 6月定例会最終日 広聴広報特別委員会	4日 岩手県滝沢市議会議員視察来庁(観光振興について) 13日 青森県弘前市議会議員視察来庁(小平市協働事業フォローアップ支援事業について) 17日 広聴広報特別委員会

### 議場見学

《小学3年生》

○5月22日	八小72人
○5月31日	七小118人
○6月1日	十三小59人
○6月12日	十二小98人
九小81人	

### あしがき

6月定例会では、さまざまな議案等について、活発な議論が交わされました。

今後わかりやすい紙面づくりに努めてまいります。

お気づきの点がございましたら議会事務局にお寄せください。

〒187-1801 小平市小川町二丁目  
1333番地

TEL 042(346)9566  
FAX 042(346)9567